

みずほCustomer Desk Report 2018/05/30号(As of 2018/05/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.21
TKY 9:00AM	109.40	1.1627	127.20	1.3310	0.7546
SYD-NY High	109.47	1.1640	127.28	1.3325	0.7552
SYD-NY Low	108.12	1.1510	124.62	1.3205	0.7499
NY 5:00 PM	108.75	1.1539	125.52	1.3255	0.7506
NY DOW	24,361.45	▲ 391.64	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,396.59	▲ 37.26	日本10年債	0.0300	▲ 1.00bp
S&P	2,689.86	▲ 31.47	米国2年債	2.3331	▲ 14.47bp
日経平均	22,358.43	▲ 122.66	米国5年債	2.6000	▲ 16.27bp
TOPIX	1,761.85	▲ 8.57	米国10年債	2.7890	▲ 14.14bp
シカゴ日経先物	22,040.00	▲ 320.00	独10年債	0.2555	▲ 8.65bp
ロンドンFT	7,632.64	▲ 97.64	英10年債	1.1920	▲ 12.80bp
DAX	12,666.51	▲ 196.95	豪10年債	2.7165	▲ 2.30bp
ハンセン指数	30,484.58	▲ 307.68	USDJPY 1M Vol	8.25	1.00%
上海総合	3,120.46	▲ 14.62	USDJPY 3M Vol	8.14	0.76%
NY金	1,299.00	▲ 4.70	USDJPY 6M Vol	8.40	0.53%
WTI	66.73	▲ 1.15	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	201.82	▲ 1.53	EURJPY 3M Vol	10.41	1.59%
ドルインデックス	94.83	0.64	EURJPY 6M Vol	10.30	1.33%

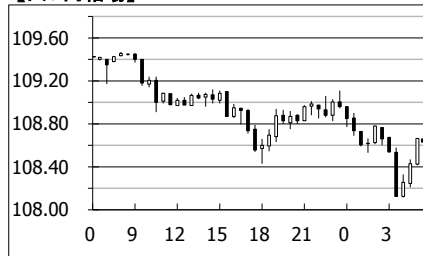
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月29日	13:40	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演「景気下降につながる恐れ追加利上げ回避を」		
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感指数	5月 128.0	128.0
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	5月 26.8	23.8

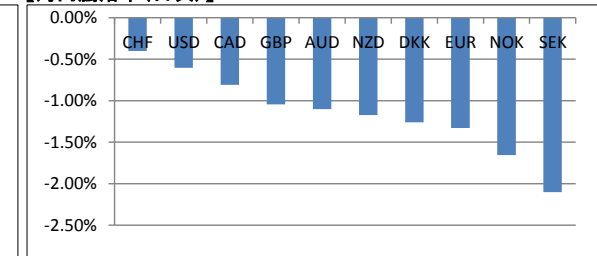
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月30日	09:00	日 黒田日銀総裁講演		
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 190k	204k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q 2.3%	2.3%
	23:00	加 カナダ銀行翌日物貸出金利	- 1.25%	1.25%
5月31日	03:00	米 米地区連銀経済報告(ページブック)		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.90—109.20	1.1470—1.1600	124.50—126.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、下落後にやや値を切り返す展開。イタリア政局への不安感が強く、東京時間から軟調推移したドル/円は、欧州時間入り後、ユーロ/円の急落につれ安となり109円ちょうど絡みから108.50円割れまで下落。欧州株が下げ幅を縮めると109円台を回復する場面も見られたが、関税対象リスト発表を巡る米ホワイトハウスと中国商務省間の見解相違が明らかになると米中貿易摩擦懸念が再燃、米株安もありドル/円相場は108.12円と4/23以来の安値をつけた。その後はイタリア早期再選挙期待に108円台半ばまでやや反発した。本日のドル/円相場は、上値の重い展開を予想する。欧州政治不安は継続、米中通商交渉への警戒感も払拭できないなかりリスクセンチメントは良いとはいえず、月末を控えた本邦輸出企業のドル売りフローが相応に出てくることも見込まれるため、ドル/円の戻りは鈍そうだ。

東京	早朝に高値109.47を示現したドル円は、東京時間を109.40レベルでスタート。イタリアのポピュリスト政党が連立政権樹立に失敗し、秋にも再選挙となる可能性が高まったことから、リスクオフの円買いが強まりドル円は朝から軟調ムード。午前中に109円台割れを示現した後、しばらく109円を挟んでの推移が継続したが、東京時間終盤にはドル売りが優勢となり108.87まで下落し、そのまま海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.87レベルでオープン。イタリア、スペインの政治不安が取沙汰される中、リスク回避的に円が買われドル円は一時108.43まで売られるが、ユーロが買い戻されるとドル円も買い戻され108.97レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1607レベルでオープン。イタリア国債の金利が大きく上昇する中、安値1.1510に低下。その後一部報道で伊連立政権がユーロ離脱を目指さない、とのコメントがあったと伝わると買い戻され1.1555レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	閣僚名簿でユーロ懐疑派の経済相候補の入閣が大統領に認められず、イタリアが連立政権樹立に失敗したことや、スペイン政局不安からリスク回避の動きが強まり、海外市場で円買いが優勢となったことから108.43まで下落したドル円は、ユーロ円が下げ渋る展開に下値をサポートされ、108.97レベルでNYオープン。朝方はショートカバーに109.11まで戻すものの、米5月消費者信頼感指数が予想と一致する一方、前回分が下方修正されたことに加え、軟調に寄り付いた米株式市場が下げ幅を拡大させる展開に、ドル円は108.53まで反落する。午後に入り、イタリアが早ければ7月末に再選挙を行う可能性と報じられ、ユーロ懐疑派が更に勢力を伸ばすとの懸念から株式市場が更に下げ幅を拡大させる展開に、ドル円は安値108.12まで下落する。しかしこのレベルでは買い意欲も強く、株式市場が下げ渋る展開にドル円は108.79まで戻し、108.75レベルでクロスした。一方、イタリア債利回りが急上昇したことを受け、一気にユーロ売りが持ち込まれ、海外市場で昨年7/20以来のレベルである安値1.1510まで下落したユーロドルは、1.1555レベルでNYオープン。朝方はショートカバーが持ち込まれたことから1.1590まで戻すものの、イタリアの再選挙の思惑に1.1520まで反落する。午後は狭いレンジでの調整中心の値動きが続き、1.1539レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・鶴田